

甲状腺クリーゼの患者様へのお知らせとお願い

当院は、厚生労働省及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究班が実施する「甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究」に協力しております。得られた成果は、病気の予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。

このため、新規に甲状腺クリーゼと診断された方について、調査へのご協力とご理解をお願い申し上げます。

○研究の目的

甲状腺ホルモンは体の代謝を整えるのに重要なホルモンです。しかし、甲状腺ホルモンが過剰に分泌される、調節不十分な甲状腺機能中毒症では、感染症、手術、ストレスがきっかけとなり、高熱、血液の循環が保てなくなりショック状態におちいる、意識障害などを来し、生命の危険（致死率 10%以上）を伴う場合があります。このような生命を脅かすような甲状腺中毒状態は甲状腺クリーゼと呼ばれています。現状、甲状腺クリーゼはどのように発症するかは明らかになっていません。しかしながら、致死率が高い病気ですので、的確に甲状腺クリーゼを診断し、早期に治療を開始することが肝要です。国内においては、年間約 150 人の方が発症され、致死率は 10%以上です。後遺症として、治療硬軟な神経学的障害（低酸素性脳症、廃用性萎縮、脳血管障害、精神症）が少なからず認められます。2017年に、日本甲状腺学会は「甲状腺クリーゼ診療ガイドライン 2017」を作成しました。この診療ガイドラインの有用性を検証するとともに、甲状腺クリーゼの予後に影響する要因を解明することを目的とした研究です。

○研究期間

平成 30 年 2 月 1 日から平成 35 年 1 月 31 日

【ご協力いただきたいこと】

● あなたの病気に関する診療情報（カルテに記載されている検査結果など）を、調査のために使わせてください。

【ご協力にあたり、ご理解いただきたいこと】

● あなた個人に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。
調査は、あなたの主治医が、カルテに記載されている検査結果などを、愛媛大

学大学院医学系研究科内に設置したデータ集積管理システムである REDCap に、適切な管理のもと、オンラインでデータを送信します。

● あなた個人の情報は、厳重に管理します。

調査票には、あなたの「性別、生年月（日は除く）、居住地（都道府県まで）」を送信します。しかし、「カルテ番号、氏名、住所、電話番号」など、個人を特定できる情報は送信しません。

調査票の内容は、プライバシー保護のため、個人が特定できないような単なる数字の情報に置き換えて集計します。調査結果を公表する場合も、個人名が出ることはありません。

● この調査に関してご質問などございましたら、主治医または下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

Tel. 0853-20-2183

Email: mnotsu25@med.shimane-u.ac.jp

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 三宅吉博

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5283

Email: epi-prev@m.ehime-u.ac.jp

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業

研究課題：ホルモン受容機構異常に関する調査研究

研究代表者：赤水尚史

研究分担者：三宅吉博

国立研究開発法人日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業

研究課題：ホルモン受容機構異常症診療ガイドライン作成ためのエビデンス構築に関する研究

研究代表者：赤水尚史

研究分担者：三宅吉博

○研究に関わる共同研究機関

研究代表者（研究責任者）：

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座 教授 三宅吉博

研究分担者：

国立保健医療科学院 木村映善

REDCap の統括

愛媛大学大学院医学系研究科統合医科学 助教 田中景子

研究運営の統括

和歌山県立医科大学医学部内科学第一講座 講師 古川安志

登録者管理統括

既存情報の提供を行う者（申請時に確定している者のみ列挙、今後追加見込み）：

和歌山県立医科大学医学部内科学第一講座	赤水尚史
和歌山県立医科大学医学部内科学第一講座	古川安志
東京女子医科大学医学部内科学（第二）	磯崎収
高島平中央総合病院内科	飯降直男
大阪市立総合医療センター内分泌内科	金本巨哲
群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学	佐藤哲郎
藤田保健衛生大学医学部内分泌・代謝内科学	鈴木敦詞
東邦大学医療センター大森病院糖尿病・代謝・内分泌センター	坪井久美子
帝京大学ちば総合医療センター小児科	南谷幹史
慶應義塾大学医学部腎臓・内分泌・代謝内科	脇野修
京都医療センター循環器内科	井口守丈

赤水研究班の統計解析統括者：

京都府立医科大学大学院医学研究科生物統計学 手良向聡

島根大学作成日：2019年2月9日